



TITLE:

# 表紙・目次 (泌尿器科紀要 第35巻 第5号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第35巻第5号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科  
紀要 1989, 35(5): 921-922

ISSUE DATE:

1989-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/116515>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 5 May 1989

京都大学

90008741

図書

# 泌尿器科紀要

第35巻 第5号 1989年5月



## 【原著】

- Clonogenic assay を用いた腎細胞癌に対するインターフェロンの抗腫瘍効果の検討  
—単独ならびに制癌剤との併用効果について—……………大村 清隆・塚本 泰司… 737
- 結石にともなう尿路感染症 1. 尿路感染の意義について……………竹内 秀雄・ほか… 749
- 結石にともなう尿路感染症 2. 結石内細菌に対する抗菌剤の効果について……………竹内 秀雄・ほか… 755
- 経皮的腎尿管結石摘出の成績……………内藤 克輔・ほか… 763
- 尿路結石の自然排出に関する臨床的研究  
—ウロカルンおよび跳躍運動の自然排石に及ぼす効果—……………渡辺 康介・由利 和也… 769
- 腎外傷30症例の検討 —CT・血管造影の有用性—……………坂本 英至・ほか… 775
- 局所浸潤性膀胱移行上皮癌の治療における neoadjuvant chemoradiotherapy  
について —PVB 療法および CAP 療法の近接効果に関する検討—……………百瀬 均・ほか… 781
- 高齢膀胱癌患者に対する経尿道的マイクロ波凝固術の経験……………木暮 輝明・ほか… 789
- Indiana Continent Urinary Reservoir による尿路変更術  
—特に pouch 作成法に関する検討—……………荒井 陽一・ほか… 795
- 前立腺癌患者における女性ホルモンの  
血中アンチトロピンⅢに対する影響……………林 正・ほか… 807
- Peyronie 病に対する tunica vaginalis autografting の経験……………武縄 淳・ほか… 815
- 精巣悪性リンパ腫 26症例に関する臨床・病理学的検討……………野々村祝夫・ほか… 819
- 精漿中 Diamine Oxidase (DAO) 活性の研究……………内島 豊・ほか… 829

## 【症例】

- 後腹膜原発 extragonadal germinal tumor を疑った2例……………宮尾 則臣・ほか… 835
- 後腹膜神経鞘腫の1例……………佐藤 三洋・ほか… 839
- 妊娠に合併した腹膜後腔膿瘍の被覆腫瘍の1例……………松橋 求・ほか… 843
- 異所開口で逆流を伴う完全重複腎盂尿管に発生した腎盂扁平上皮癌の1例……………御厨 裕治・ほか… 847
- 経尿道的腎盂ドレナージにより救命しえた気腫性腎盂腎炎の1例……………岡本 知士・ほか… 851
- 左横隔膜下膿瘍を併発した化膿性孤立性腎嚢胞症例  
—症例および文献の考察—……………吉田 和弘・ほか… 857
- クローン病による水腎症の1例  
—クローン病の尿路合併症本邦報告例の検討—……………松宮 清美・ほか… 863
- 尿管ポリープの膀胱内脱出を伴った巨大尿管結石の1例(英文)……………寺井 章人・ほか… 871
- 巨大尿管を伴った男子尿管異所開口の2例……………佐藤 信夫・ほか… 875
- 膀胱結石を伴った原発性膀胱腺癌の1例……………田中 重人・ほか… 881
- 膀胱白板症を伴う扁平上皮癌 —症例および発生病理に関する考察—……………吉田 和弘・ほか… 885
- 副辜丸炎と逆流を有する小児不安定膀胱の1例……………斎藤 政彦・ほか… 891
- 処女膜閉鎖による尿閉の1例……………片山 孔一・ほか… 897
- 肺転移にて発見されホルモン療法が著効を示した前立腺癌の2例……………宮部 憲朗・ほか… 901
- 巨大な Seminoma を合併した  
Persistent Müllerian duct syndrome の1例……………辻井 俊彦・ほか… 905
- 陰囊内血管腫の1例……………米田 尚生・ほか… 911

## 【治験】

- AMS ベニール インプラント インフレータブル型  
モデル700の臨床試験成績……………白井 将文・ほか… 913

# 泌尿器科紀要

## Advisory Committee

阿曾 佳郎	熊本 悦明	園田 孝夫	田崎 寛	前川 正信
町田 豊平	宮崎 重			

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

## Associate Editors

大川 順正	折笠 精一	熊沢 浄一	小磯 謙吉	友吉 唯夫
渡辺 決				

## Editorial Board

生駒 文彦	上田 豊史	碓井 亜	大江 宏	大島 伸一
大島 博幸	大田黒和生	大野 良之	大森 弘之	岡 隆宏
岡島英五郎	岡田謙一郎	岡田 裕作	岡本 重禮	香川 征
垣添 忠生	片山 喬	加藤 哲郎	守殿 貞夫	河合 恒雄
河田 幸道	河邊 香月	川村 寿一	川村 猛	桐山 寅夫
栗田 孝	桑原 正明	郡 健二郎	古武 敏彦	小松 洋輔
小柳 知彦	近藤 厚生	酒徳治三郎	桜井 勲	里見 佳昭
島崎 淳	白井 将文	瀬川 昭夫	田中 啓幹	津川 龍三
土田 正義	東間 紘	中田 瑛浩	名出 頼男	東原 英二
久住 治男	平尾 佳彦	三品 輝男	宮川美栄子	三宅 弘治
宮崎 一興	矢谷 隆一	八竹 直	山中 英寿	山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

## 購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨症統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
  - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
  - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
  - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
    - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。  
例：山田，ほか：前立腺癌・PSAP
    - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
  - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
  - (5) 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。

図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)が望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。

例：山田<sup>1,3,7)</sup>，田中<sup>8,11-13)</sup>によると...

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlwski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄，上田 眞，野々村光生，飛田収一，大石賢二，東 義人，岡田裕作，川村寿一，吉田修：経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について，泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保直一：腫瘍病理学。ベッドサイド泌尿器科学，診断・治療編。吉田 修編，第1版，pp.259-301，南江堂，東京，1986

- (7) 原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真は3部ともオリジナル）を書留で送付する。万一にそなえて，コピーを手元に控えておくこと。

（原稿送付先）

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301 号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。
- (9) 論文の訂正：査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，編集部宛送付すること。なお，Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある。
- (10) 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
- (11) 投稿にあたっては，本誌を十分参考にして体裁を守ること。

### 3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする。

迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける。

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
- (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療器械の使用などに関する研究論文（治験論文）については，掲載料を別途に申し受ける。

4. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. [Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.]
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.